

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

実施日：令和7年7月10日（木）9:30~12:00

場 所：安来市立能義小学校

指導者：担任1名

：島根県埋蔵文化財調査センター 職員1名

（協力：安来市教育委員会 1名）

1. 題材名 古代の人々の文化や生活に触れてみよう
 ～火おこし体験、勾玉作りを通して見える古代の人々の生活～

2. 本時のねらい
 ○火おこしや勾玉作りの体験を通して、古代の人々の文化や生活に興味・関心をもつ。
 ○自分たちの住む身近な地域の歴史や遺跡を知ることを通して、地域への愛着や誇りをもつ。

3. 展 開

時間	学習内容	指導者の支援・配慮事項
9:30	○本時の流れを知る。(教室) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">火おこしや勾玉作りを通して古代の人々の生活について知ろう</div>	・本時のめあてを掲示する。
9:35	○地域の古代の文化について知り、古代人の生活について考える。 ・校区内や安来市内の遺跡についての説明を聞く。 ・県内の遺跡から出土した土器や遺物を見たり触ったりする。	・講師の先生の紹介、挨拶。 ・遺跡からどのようなことが分かるかについて説明する。 ・安来で出土したものを提示する。
10:05	○火おこしに挑戦する。(二人一組)(体育館の軒下) ・火おこしの方法について話を聞く。 ・火おこしの体験をする。 ・片付けをする。	・火おこしについての流れや説明をする。 ・火を起すことの大変さを知り、古代の人々の生活の様子を想像することで興味・関心を高めることができるようにする。
10:35	休憩	
10:45	○勾玉作りをする。(体育館の軒下) ・勾玉について知る ・勾玉のつくり方の説明を聞く。 ・勾玉作りを体験する。 ・片付けをする。	・どのように使われていたのか、またどのような意味が込められていたのかを知り、古代の人々の生活の様子を想像することで興味・関心を高めることができるようにする。 ・安全への配慮として、道具を使う際の注意点を伝える。 ・昔の人の気持ちを想像させる声かけをする。
11:45	○ふりかえり、まとめ(教室) ・質問や感想等	・学習を振り返り、質問があれば質問をする。また今日の学習の感想を書いたり発表したりする。

4. 準備物

【学校】大型提示装置、長机、振り返り用紙、カメラ、バケツ（火を消す用）

【埋蔵文化財調査センター】体験用品、パワーポイントデータ、資料、活動説明資料、遺物

【児童】水筒、筆記用具、軍手、マスク（勾玉粉吸い込み防止）